

米子地区防火安全協会

会報



第5号

米子地区防火安全協会

米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局内

TEL.0859-35-1970 FAX.0859-35-1961

平成26年3月

用紙/王子製紙株式会社 印刷所/東京印刷株式会社

3月1日(土)～3月7日(金)

春の火災予防運動が実施されました

～平成25年度 全国統一防火標語～

消すまでは 心の警報 ONのまま



空気が乾燥し、強い季節風が吹く春の季節は、火災が発生しやすいです。特に、春先の3月～5月は全国的にも林野火災が発生する気象条件が重なり、火の取扱いには十分注意が必要です。

西部消防局においては、この春季全国火災予防運動に合わせ、各種防火行事が計画され、火災予防運動が推進されます。当協会におきましても、引き続き住宅用火災警報器の普及啓発・斡旋や新入社員防災研修会等の事業を行っておりますが、各会員事業所におかれましても消火、避難訓練といった従業員へ防火教育を一層推進していただき、自主防火管理と火災発生防止に努めましょう。

【西部消防局実施概要】

- (1)住宅用火災警報器の設置啓発活動と併せた維持管理広報
 - ①自治会等の集会の機会を捉えた設置促進及び維持管理広報活動
 - ②各地域における設置促進活動
- (2)防火対象物等の立入検査
- (3)自主防災組織等と連携した地域の防火・防災安全対策の推進
- (4)林野火災予防の広報活動
- (5)各種消防演習
- (6)防火広報
 - ①幼稚園児・保育園児による防火パレード
 - ②消防車両による防火広報（消防団合同パレード含む）
 - ③防災無線・広報誌による広報
- (7)防火講話
 - 幼稚園児・保育園児を対象とした防災教育
- (8)その他
 - 各種訓練、防火指導

西部消防局 重点目標

- (1)住宅用火災警報器の設置啓発活動と併せた維持管理広報
- (2)防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (3)自主防災組織等と連携した地域の防火・防災安全対策の推進
- (4)林野火災予防対策の推進





ご挨拶

米子地区防火安全協会
会長 宇野松人

平成二十六年の新春を迎え、会員の皆様には謹んでご挨拶を申し上げます。

平素より、会員の皆様をはじめ、消防機関や各団体の方々の当協会の事業運営に対し格別のご指導、ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国各地で異常気象によるかつてない記録的な豪雨を記録し、さらには京都府福知山市の花火大会会場での火災や福岡市博多区の病院火災も発生するなど、多くの尊い命と財産が失われました。幸い西部消防局管内で豪雨災害や大規模な事業所の火災・事故等はありませんでしたが、災害防止対策として国により消防法令の改正等も進められており、西部消防局におきましても全国危険物安全協会が作成したガソリン携行缶の取り扱いに関する注意表示シールの配布や、ホテル・旅館等の防火対象物に係る表示制度の運用開始に先立ち説明会が開催されております。

米子地区防火安全協会におきましては、住宅用火災警報器の普及啓発・斡旋など、災害を未然に防ぐ活動を継続して行っております。また、今年度新たに消火競技会や実務研修会といった協会員主体の事業に取り組む他、危険物取扱者試験準備講習会における試験対策、新入社員防災研修会など、各会員事業所が防災・防火管理に対する意識向上につながる事業を展開しているところでございます。

今後とも鳥取県西部広域行政管理組合消防局と連携しながら、火災・事故のない安全な地域づくりに貢献するため、一層努力して参る所存でございます。

本年も皆様方のさらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年役員会

去る1月28日(火) 皆生方ランドホテル天水において、藤井米子市議会副議長様、武本西部消防局長様を来賓に迎え、新年役員会が開催されました。役員会では、事務局より事業執行状況及び予算の執行状況について中間報告が行なわれた後、次年度の事業について説明がありました。審議の上、次期事業計画案を企画することとなりました。

その会議の席上で報告された、平成25年4月から12月までの会務中間報告、及び次期事業計画案の内容は、次の通りです。

会務中間報告

次年度事業計画概要

(1) 研修について

■実務研修会の内容充実

会員事業所における防火・防災に対する取り組みや各事業分野の情勢・動向、事故事例説明といった発表形式を取り入れ、一層会員間交流につながるような研修とする。

■消火競技会への参加拡大

今年度は米子協会から3事業所へのみの参加であったが、次年度は早い段階から周知して参加者を募り、境港協会との会員事業所間交流を図る。

(2) 危険物取扱者試験準備講習会

■講習日程と開催日について

今年度より、従来3日間の講習を2日間に短縮し、受験対策に特化した講習に切り替えたところ、例年よりも高い合格率であった。また、受講者にアンケートを実施した結果を踏まえ、講習日程は次年度以降も2日間で実施予定。

第2回目の講習会(乙4)は金・土曜開催としたが、消防局内のセキュリティ面等管理上の問題が生じ、平日のみの開催とする。



- 4月 「消防計画の作成例」発行
5月 危険物取扱者試験 準備講習会(乙4 25名、丙 23名参加)
定期総会、役員会
甲種防火管理 新規講習(85名参加)
甲種防火管理 再講習(33名参加)
6月 鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び安全大会(倉吉)
新入社員防災研修会(140名参加)
7月 平成25年度法定講習講師研修会(東京)
8月 危険物保安技術協会保安講習会(大阪)
「会報(第4号)」発行
9月 鳥取県危険物取扱者保安講習会(法定講習)
甲種防火管理 新規講習(99名参加)
10月 消火競技会(3事業所参加)
11月 甲種防火管理 再講習(26名参加)
甲種防火管理 新規講習(98名参加)
1月 危険物取扱者試験 準備講習会(乙4 19名参加)
新年役員会
その他 住宅用火災警報器の普及活動協力、防火DVD貸出

消火競技会

平成25年10月17日(木)に、境港市消防保安協会主催「第34回事業所対抗消火競技会」が境港消防署において開催されました。台風26号の影響が心配されましたが、当日は爽やかな秋晴れの中、境港消防署の皆様にご協力頂きながら全12チームが消火技術を競いました。当協会からは3会員事業所よりご参加頂き、また、ご多忙の折にもかかわらず宇野会長及び上田副会長にご臨席賜り、消火競技会を盛り上げて頂きました。(協会ホームページも併せてご覧ください)



【米子瓦斯株式会社】



チーム名：米子ガス火消し隊
タイム／順位：01:27.00 7位
出場者名：上場 一巳さん・門士 栄介さん
中央は宇野松人会長（同社代表取締役社長）

上場 一巳さん

今回、初めて事業所対抗消火競技会に参加しました。初めての参加のため少々戸惑いました。今回は上位入賞できませんでしたが、上位入賞チームの操作を見て要領が解った気がします。実際の火災では競技のようにはいかないと思いますが良い実働訓練になりました。次回、参加出来たら上位入賞を目指し頑張りしたいと思います。

門士 栄介さん

私の仕事は危険物を扱う仕事であり、安全確保に対する強い気持ちを持ち、事故、災害に対応すべく日々24時間体制で保安の監視・確保をしております。その中で、この度の消防競技大会は非常時を意識した緊張感の中で望む事ができました。私は、消火器をいち早く使用し初期消火を行い、給水バルブの操作を行い放水。放水を行う者へバトンを渡しました。このような連携動作は初めての経験であり、実践に近い訓練だったと思います。この訓練で培ったものは、会社での防災訓練、自治会などに持ち帰り様々な形で生かしていきたいと思っています。消火競技会での貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

【株式会社米子青果】



チーム名：米子青果
タイム／順位：01:24.84 4位
出場者名：奥田 英樹さん・葉狩 宗之さん
中央は上田副会長（同社代表取締役社長）

葉狩 宗之さん

今回の競技会に参加させて頂いて感じたことは、参加前と参加後では自分自身の火災に対する考えが変わったことでした。参加前の考えは「火を消すぐらい」と安易な考えをしていたのが、参加後には「火災を防ぐにはどうしたらいいのか」と、火災に対して真剣に考えている自分に変わっていました。その理由ですが、火を消すことの難しさを体験したことが一番にあります。自分は消火器で火を消す役をしたのですが、火を消す前に炎に近づいただけでその熱さに驚きました。消火器で火を消す時には消火器の粉で火元が見えず、消火器は意外と重くて思うように消火出来なかった経験から自分の家族や友人に火災の怖さや消火の難しさを伝えました。今年はいじめて参加させて頂いて4位という成績だったのですが、来年もリベンジして1位を取りたいと思います。

【株式会社 鶴見製作所 米子工場】



チーム名：株式会社 鶴見製作所 米子工場
タイム／順位：01:35.63 9位
出場者名：箕島 滋さん・田辺 大輔さん

箕島 滋さん

今回初めて米子市の事業所も参加する事になり、鶴見製作所の代表として行きました。私は境港市の消防団でもあり、操作方法は自信があり、良いタイムが出せるのではと考えていましたが、やはり境港市の事業所はコツを掴んでおり、素晴らしいタイムと操作方法だったと思います。消火器も使用したり、放水もして、良い経験になりますので次回はこのような経験がない人を行かせようと思います。

田辺 大輔さん

競技を通して、消火器の使い方・初期消火の大切さや消火活動の難しさを再認識することが出来ました。日常生活を送る中で薄れがちである防火意識を持つことや普段、危険行為をしていないか等の安全作業の大切さも感じました。また、火災は日常生活以外に震災でも発生します。私達の住んでいる鳥取県は海沿いにあり海上火災や震災後においても通電火災が起こる可能性があります。日常生活を送る中で避難場所の確認や災害前の準備も必要であると思いました。今回、消火競技会に参加し災害の怖さを再認識が出来た良い機会でした。

協会合併後、初の取り組みとなった消火競技会への参加は、事業所における防火意識の高揚と初期消火技術の向上を図るだけでなく、両協会の会員事業所同士の交流にもつながり、非常に意義のある事業になったと思います。本消火競技会を主催されました境港市消防保安協会の関係各位の皆様をはじめ、境港消防署の皆様方のご尽力の下、無事執り行われましたことを心より御礼申し上げます。来年度はより多くの会員事業所の皆様のご参加をお待ちしております。



～西部消防局管内の動き～

出 初 式

去る1月12日(日)米子市の出初式が行われ、市消防団(28分団)、米子消防署、陸上自衛隊駐屯地から約550名が参加しました。米子港には消防団員や消防車両が整列し、岸壁から海に向かって一斉放水しました。



春の火災予防運動

3月1日(土)～7日(金)までの「春の全国火災予防運動」期間中、西部消防局管内の消防署所で各種行事が計画され、米子市消防団・米子消防署の消防合同演習をはじめ、避難訓練指導や合同パレードなど火災予防運動が実施されました。米子消防署では、市内の保育園・幼稚園において幼年期からの防火思想の啓発を図るため、同署職員が米子市の女性消防団と連携し、園児に対して防火紙芝居や寸劇、避難訓練を通じて火災時の行動等について対処方法を伝えました。



【みずほ幼稚園】
3月3日(月)みずほ幼稚園において、火災と津波を想定した避難訓練及び寸劇による防火教室が実施されました。

【市立 西保育園】
3月6日(木)市立西保育園において、防火紙芝居及び寸劇による防火教室が実施されました。

火災概況について (平成25年1月～12月)

平成25年中の西部消防局管内の火災件数は過去5年間の中では最も多い138件で、前年の115件と比較し23件(20%)の増加となりました。その主な要因としては、前年に比べ2月・3月に「その他火災(草火災など)」が多発したことが挙げられます。

1. 出火状況と出火原因

★その他火災は火災全体の43%

火災種別の構成比率をみますと、その他火災(草火災など)が59件(42.7%)と最も高い比率を占め、次いで、建物火災57件(41.3%)、林野火災10件(7.2%)、車両火災9件(6.6%)、船舶火災3件(2.2%)と続いています。なお、前年に比べその他火災が20件も増加し、3月だけでも12件の火災が発生したことから、春先の火災には十分注意が必要です。

		平成25年	平成24年	増減数
火災種別	建物火災	57	65	▲8
	林野火災	10	4	6
	車両火災	9	7	2
	船舶火災	3	0	3
	その他火災	59	39	20
火災件数(件)		138	115	23

★出火原因は「火入れ」が最も多い

出火原因は、「火入れ」が35件と最も多く、「たき火」「たばこ」等火気の取扱いの不注意や不始末から発生しています。

2. 火災による死傷者の状況

火災による死者数は前年と同数の6人で、鳥取県全体の9人に対し約7割近くが西部で発生している状況となっています。また、6人の死者のうち5人が住宅火災で亡くなられており、うち4人が65歳以上の高齢者となっています。

★住宅用火災警報器を設置しましょう!

総務省消防庁の発表によると、昨年6月時点の住宅用火災警報器の設置率推計は、全国平均79.8%、鳥取県79.0%、西部消防局管内が80.8%となっております。協会の斡旋事業として住宅用火災警報器の設置・普及啓発活動を行っておりますが、依然として全世帯への設置には至っていない状況です。

万が一火災が発生しても、火災警報器を設置することで「早期発見」「早期避難」が可能となります。平成25年中に発生した建物火災においても住宅用火災警報器が設置されていたことにより、奏功事例が多く報告されております。家族の命を守る重要な設備である住宅用火災警報器が一日も早く鳥取西部管内の住宅へ100%設置されるよう、会員事業所におかれましても、社員・職員の方々へ周知、設置促進の啓発をお願い致します。

ガソリン等の危険物の取扱いにご注意ください

平成25年8月15日(木)に福知山市の花火大会会場において、開設された露店で爆発事故が発生し、多くの死傷者が発生しました。

ガソリンは、非常に引火点が低く静電気火花でも引火するなど、取り扱いを誤ると大変危険です。

取り扱う時は、必要な消火準備を行い、次のことに注意して正しい取扱いをお願いします。

危険性について
ガソリンは気温が-40℃でも気化し小さな火源でも引火し爆発的に燃焼する物質です
軽油は+40℃で気化します

容器について
灯油用ポリエチレンかんにガソリンを入れることは非常に危険です
ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度のある材質を使用することと容量が制限されています

購入について
セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません
消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください

保管について
ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください
ガソリンは、揮発性が極めて高く火災が発生すると爆発的に広がるので保管時には注意してください

取扱いについて
使用時には取扱説明書をよく読み適正な取扱いをしてください
パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等注入口からの漏れによる危険物の漏えい事故の報告があります

【お問い合わせ】

鳥取県西部広域行政管理組合消防局 予防課 危険物係

TEL : 0859-35-1955

FAX : 0859-35-1961

表示制度について

平成24年5月に発生したホテル火災を契機に、ホテル・旅館等の火災被害拡大防止対策等に関する検討が進められておりましたが、この度不特定多数の者を収容する防火対象物における惨事を防止するため、平成15年9月に廃止された「防火基準適合表示制度」の仕組みが再構築され、防火対象物に係る表示制度の運用が開始される事となりました。

ホテル・旅館等に対する「表示制度」が開始されます。
平成24年4月1日より

表示制度の申請・交付の流れ

平成26年度防火管理等講習日程

■防火管理講習会について

西部消防局主催の防火管理講習会につきましては、平成26年度も引き続き開催いたします。詳細につきましてはホームページでご確認ください。

◆甲種防火管理新規講習

講習回数	講習日	申込期間
第1回	5月13日(火)・14日(水)	4月14日～4月21日
第2回	9月11日(木)・12日(金)	8月11日～8月18日
第3回	12月1日(月)・2日(火)	11月4日～11月11日
第4回	平成27年3月12日(木)・13日(金)	平成27年2月16日～2月23日

◆防災管理新規講習

講習回数	講習日	申込期間
第1回	9月17日(水)	8月18日～8月29日

◆甲種防火管理再講習

講習回数	講習日	申込期間
第1回	5月16日(金)	4月21日～5月2日
第2回	12月5日(金)	11月10日～11月21日

平成26年度試験・講習会情報

平成26年度 各種試験・講習会日程が決定しました。詳細につきましては、別紙実施要項またはホームページでご確認ください。

■準備講習会について

平成26年度も引き続き、危険物取扱者試験準備講習会(乙種第4類及び丙種)を開催いたします。今年度講習日程を2日間に短縮し、より試験対策に特化した講習内容に変更した結果、乙種第4類及び丙種ともに非常に高い合格率となりました。次年度も境港市消防保安協会との合同開催とし、講習会場は全て西部消防局となります。なお、会員事業所の方は受講割引がありますので、詳細につきましては別紙受講要項またはホームページでご確認ください。

◆危険物取扱者試験 準備講習会 ※受講料はテキスト代を含みます。

講習種別及び講習回数	講習日	受付期間(※講習会前日まで受付)	試験日	受講料(会員)	受講料(会員外)	テキスト代(法令編・実務編・例題集)
乙種第4類 (定員100名)	第1回	5月22日(木)・23日(金)	4月15日(火)～ 6月15日(日)	7,120円	11,120円	4,120円
	第2回	9月25日(木)・26日(金)	8月1日(金)～ 10月26日(日)			
	第3回	平成27年1月14日(水)・15日(木)	12月1日(月)～ 平成27年2月8日(日)			
丙種 (定員30名)	第1回	5月26日(月)	4月15日(火)～ 6月15日(日)	5,110円	6,610円	3,710円
	第2回	9月19日(金)	8月1日(金)～ 10月26日(日)			

◆危険物取扱者試験・消防設備士試験日程 ※危険物取扱者試験 準備講習会と危険物取扱者試験の申込先、受付期間は異なりますのでご注意ください。(試験の受験申込先は、「財団法人 消防試験研究センター 鳥取県支部」です)

区分	試験日・試験種類	試験会場(予定)	受付期間・合格発表予定日
危険物取扱者試験	第1回 6月15日(日) (甲種、乙種、丙種)	(東部)鳥取県庁 (中部)倉吉未来中心 (西部)米子職業能力開発促進センター ・米子コンベンションセンター	(書面申請)4月10日(木)～4月24日(木) (電子申請)4月7日(月)～4月21日(月) (合格発表予定日)7月7日(月)
	第2回 10月26日(日) (甲種、乙種、丙種)	(東部)鳥取県庁 (中部)倉吉未来中心 (西部)米子職業能力開発促進センター ・米子コンベンションセンター	(書面申請)9月2日(火)～9月16日(火) (電子申請)8月30日(土)～9月13日(土) (合格発表予定日)11月17日(月)
	第3回 平成27年2月8日(日) (乙種)	(東部)鳥取県庁 (中部)倉吉文化体育会館 (西部)米子職業能力開発促進センター ・米子コンベンションセンター	(書面申請)11月27日(木)～12月11日(木) (電子申請)11月24日(月)～12月8日(月) (合格発表予定日)平成27年3月3日(火)
消防設備士試験	第1回 8月3日(日) 甲種(特種、1類～5類) 乙種(1類～7類)	(東部)鳥取県庁 (西部)米子コンベンションセンター	(書面申請)6月9日(月)～6月23日(月) (電子申請)6月6日(金)～6月20日(金) (合格発表予定日)9月8日(月)
	第2回 11月30日(日) 甲種(1類、4類) 乙種(1類、4類、6類、7類)	(中部)倉吉体育文化会館	(書面申請)10月3日(金)～10月17日(金) (電子申請)9月30日(火)～10月14日(火) (合格発表予定日)平成27年1月8日(木)

※米子会場は第4回(第3回は倉吉会場)

平成25年度 危険物取扱者試験 結果報告

	★第1回		★第2回		★第4回	
	乙4 合格率	丙 合格率	乙4 合格率	丙 合格率	乙4 合格率	丙 合格率
講習受講者	68.8%	72.7%	62.5%	100.0%	63.6%	試験なし
鳥取県平均	26.5%	48.7%	39.5%	68.4%	25.6%	試験なし

編集後記

今年度も残りわずかとなりました。平成25年度は事務局としても試行錯誤の年となりましたが、会員の皆様のご理解とご協力のもと、無事事業が実施できましたことを心より御礼申し上げます。

当協会には様々な業種の事業所様にご入会頂いておりますが、協会合併後、日々整理をする中で、自身の日常生活は多くの会員に改めて気付かされました。自動車関係をはじめ、水道、ガス、電気、運輸・通信、食料品等々。ホテル旅館や病院、各教育機関、保育所(園)からも多くご入会頂いておりますが、中でも保育所に通わせる子供を持つ親としては、場所の違いや災害等が発生した時の対応や避難訓練、経路などの対策がなされているのだろうか、ガスや電気の保安体制はどうなっているのだろうか、また違う視点から会員事業所の皆様に対する協会の存在意義を考えると同時に、個人の会員様を含め継続してご入会頂いておりますことに感謝の気持ちでいっぱいです。

もうすぐ4月。空気が乾燥し春風が吹くこの季節は、一年で最も火災が発生しやすい時期です。朝晩肌寒さが残りなかなか暖房器具を止まえずにご使用され、すっかり消し忘れてしまいがちですが、お出掛けやおやすみの際は、元栓やスイッチをしっかりと確認して火災や事故のないようお過ごしください。事務局も二層気を引き締めていきたいと思っておりますので、次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 渡部)

事務局よりお知らせ

★新規会員のご紹介★

この度、米子市石州府に本社を置く「株式会社テクニカルクリーン」様にご入会頂きました。主に自動車の中古部品卸売販売業務をはじめ、自動車に関連する各種業務を展開されております。また、同社は長年にわたって年間およそ15000台におよぶ廃車処理を適正に行った功績が称えられ、平成16年には鳥取県内の廃車処理事業者として初めて鳥取県知事表彰をご受賞されました。社員教育の一環として危険物取扱者の資格取得にも意欲的で、防火・防災管理に積極的に取り組んでいらっしゃいます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

★会費の納入について★

平成25年度の会費につきまして、ご協力頂き誠に有難うございました。次年度の会費につきましては、定期総会終了後にご請求させていただきますが、お振込やご持参等による納入が困難な場合につきましては、事務局員が集金に伺いますので、ご一報願います。米子地区防火安全協会事務局 TEL: 0859-35-1970 (担当: 渡部)

- メールアドレス: y-fpsa@yonago-kyoukai.sakura.ne.jp
- ホームページアドレス: <http://www.y-fpsa.jp/>

